

平成21年2月20日
海上保安庁

連絡先
海洋情報部技術・国際課
海洋情報渉外官 淵之上清二
電話:03-3541-3685

第3回東アジア水路委員会調整会議開催(結果)について

平成21年2月18日及び19日の2日間、中国(三亜市)で、第3回東アジア水路委員会調整会議が開催されました。

今回の会議では、東アジア海域における航海安全の確保及び水路技術の向上のための活発な討議が行われ、この結果、南シナ海の電子海図の最新維持に向けた取り組み、本年の水路技術の向上のための能力開発計画などが合意されました。

1. 日 程

平成21年2月18日(水)、19日(木)

2. 場 所

中華人民共和国海南省 三亜市

3. 出席者

(1) 我が国

海上保安庁 加藤茂海洋情報部長 ほか4名

(2) 他の出席国

中国、インドネシア、韓国、マレーシア、北朝鮮、フィリピン、シンガポール、タイ 計24名

4. 会議の概要

今回の調整会議では、本年5月に国際海事機関総会で電子海図表示システム搭載義務化が採択される見込みであること、及び昨年9月に我が国で開催された世界電子海図データベース委員会で電子海図刊行区域の充実等、加盟各国水路機関の一層の取り組みを促していることを踏まえ、東アジア地域における電子海図普及のための方策について議論がなされました。

その結果、領有権問題が複雑かつ我が国の海上輸送にとっても重要な南シナ海で、本水路委員会の調整に基づき引き続き各国が協力して電子海図を作製・刊行していくこと、刊行された電子海図を最新維持すること、及び能力開発計画としてマルチビーム測量とデータ処理並びに電子海図の品質保証に関する研修を実施することが合意されました。

(参 考)

1 東アジア水路委員会:

東アジア水路委員会は、地域的な水路業務に関する問題を処理すること並びに水路業務に関する技術等の相互交換及び相互協力等を目的とし、国際水路機関の下に置かれた地域水路委員会の一つであり、1971年に設立されている。現在、我が国のほか、中国、インドネシア、韓国、マレーシア、北朝鮮、フィリピン、シンガポール、タイの合計9カ国の水路機関が加盟している。

調整会議は、2～3年に1度開催される総会の間、東アジア地域における重要な諸問題を協議するため設立されたもので、第1回は平成19年1月シンガポール、第2回は平成20年1月タイ国で開催され、南シナ海電子海図の共同作製、東アジア地域における水路技術の能力開発等について協議を行ってきたところである。

2 国際水路機関:International Hydrographic Organization(IHO)

航海の安全及び海洋環境の保護を支援するために1921年に設立された政府間の諮問的、技術的機関。現在80か国が加盟。国際水路局(IHB)はこの事務局である。

3 国際海事機関:International Maritime Organization(IMO)

海上の安全、能率的な船舶の運航、海洋汚染の防止等に関する勧告を行う機関

4 航海用電子海図:Electronic Navigational Charts(ENC)

船舶の安全で効率的な運航を支えるため、海図情報を電子化した海図

5 電子海図表示システム:Electronic Chart Display and Information System (ECDIS)

ENCを表示するシステムのこと。従来の紙海図の情報に加えて、画面上に自船等の位置や速力、針路などの情報を表示することができ、また浅瀬など危険海域に近づいたときに警報を発することができる。

6 世界電子海図データベース委員会:World-wide Electronic Navigational Chart Database (WEND)Committee

IHOの委員会の一つで、全世界にわたる共通したENCの開発と提供体制を設けることを目的とする委員会

第3回東アジア水路委員会(EAHC)調整会議

(EAHCには、日本、中国、インドネシア、韓国、マレーシア、北朝鮮、フィリピン、シンガポール、タイの合計9カ国が加盟)

背景

国際海事機関(IMO)総会で電子海図表示システム搭載義務化
(2009年5月予定)

第11回世界電子海図データベース委員会での電子海図の整備促進の合意
(2008年9月)

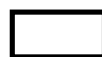
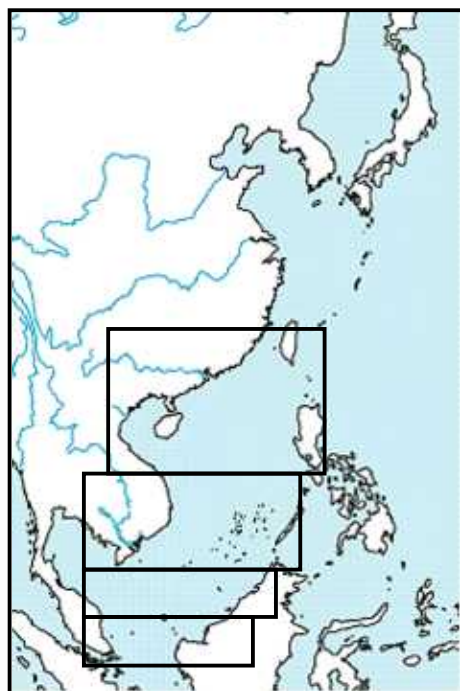
会議の成果

- 1 沿岸国の協力により南シナ海電子海図の最新維持を実施することが合意された
- 2 EAHCが主体となって関係国に対するキャパシティビルディングを実施することが合意された

(キャパシティビルディングの内容)

- ・マルチビーム測量とデータ処理に関する研修
- ・電子海図の品質保証に関する研修

(参考)



: 国際協力の下、東アジア地域の国々で共同作製した南シナ海の電子海図の刊行区域